

令和2年度第2回埼玉県南西部地域保健医療・地域医療構想協議会
議事概要

1 日時 令和3年3月16日(火) 書面開催

2 出席者

【委員】(別添委員名簿のとおり)

委員総数18名

3 議事概要

(2) 埼玉県地域保健医療計画の中間見直しについて(保健医療政策課)

【御意見】

- ・ 在宅医療:心不全、呼吸不全、腎不全の患者の入院の繰り返しや、末期状態では入院に依存する傾向が高いことから、これらの状態に対応できる在宅医療を確保する必要があると思います。
循環器病対策:高度急性期医療の充実とともにリハビリテーションを含めた慢性期医療も必要になってくると思います。
新興感染症:蔓延期に機能を転換し病床を確保する方法と、感染症に対応できる機能もちつつ通常診療をする病床を確保することも必要であると思います。
- ・ コロナ感染者に対応できる病床数を減らさずに、目的に向けた適正化が図れると良いと思います。
- ・ (3)計画策定後の状況変化に伴う見直しで、第8次医療計画に先駆けて「COVID-19 対応を踏まえた新興感染症対応を記載する」というのは、第8次医療計画を進める上で欠かせない重要なことだと思います。

【回答】

- ・ 地域保健医療計画の中間見直しにつきましては、各圏域の協議会からいただいた御意見も参考として、今後、埼玉県地域保健医療計画推進協議会における協議を中心に、見直しの検討を進めてまいります。
- ・ 中でも、在宅医療については、埼玉県地域保健医療計画推進協議会の下に在宅医療部会が設置されておりますので、具体的な検討は部会の議論を通じて行ってまいります。
- ・ また、循環器病対策につきましては、循環器病対策基本法の制定を受け、本県におきましても、令和3年度に県循環器病対策推進計画を策定する予定です。この中ではリハビリテーションの充実についても検討されており、新たに策定される計画の内容にあわせて地域保健医療計画についても見直しを進めてまいります。
- ・ 新興感染症への対応につきましては、病床確保も含めた一連の新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえ、見直しの検討を行ってまいります。

(3) 第7次埼玉県地域保健医療計画圏域別取組の実績報告及び進捗状況について(朝霞保健所)

【御意見】

- ・ 医科歯科連携は、循環器疾患の治療の質と予後の改善に関わるので、病院でも取り組んでいきたい。
小児の精神神経疾患、特に発達障害に対する相談、評価、治療について取り組んでいきたい。
- ・ 入間郡市歯科医師会第6支部として、東入間在宅歯科医療支援窓口の強化を図りたい。
- ・ (在宅医療の推進(ACP))
東入間医師会主導で県内でも先行しているといわれる東入間2市1町の地域住民への ACP の普及啓発活動ですが、朝霞4市でも市の広報誌などが ACP を大きく取り上げるようになってきています。今後は南西部圏域の6市1町と地域医師会の共同歩調で、着実に進められたらと思います。

【回答】

様々な御意見等をお寄せいただき、ありがとうございました。
委員に周知させていただきます。